

表1 事故件数の年度別推移

[件]

製品区分	平成											21年度	
	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度		20年度		
01.家庭用電気製品	268 ( 28.0%)	636 ( 44.1%)	684 ( 44.6%)	826 ( 48.2%)	628 ( 39.4%)	939 ( 44.4%)	740 ( 36.2%)	1,174 ( 39.0%)	2,382 < 535> ( 40.0%) ( 48.5%)		2,303 < 694> ( 50.2%) ( 52.2%)		2,100 < 569> ( 53.7%) ( 49.5%)
02.台所・食卓用品	18 ( 1.9%)	37 ( 2.6%)	17 ( 1.1%)	16 ( 0.9%)	24 ( 1.5%)	23 ( 1.1%)	22 ( 1.1%)	70 ( 2.3%)	117 < 10> ( 2.0%) ( 0.9%)		137 < 12> ( 3.0%) ( 0.9%)		160 < 7> ( 4.1%) ( 0.6%)
03.燃焼器具	357 ( 37.3%)	306 ( 21.2%)	427 ( 27.9%)	505 ( 29.5%)	540 ( 33.9%)	565 ( 26.7%)	852 ( 41.7%)	1,114 ( 37.0%)	1,394 < 341> ( 23.4%) ( 30.9%)		944 < 411> ( 20.6%) ( 30.9%)		716 < 375> ( 18.3%) ( 32.6%)
04.家具・住宅用品	27 ( 2.8%)	29 ( 2.0%)	59 ( 3.9%)	54 ( 3.2%)	65 ( 4.1%)	51 ( 2.4%)	73 ( 3.6%)	154 ( 5.1%)	279 < 63> ( 4.7%) ( 5.7%)		326 < 80> ( 7.1%) ( 6.0%)		219 < 68> ( 5.6%) ( 5.9%)
05.乗物・乗物用品	168 ( 17.6%)	179 ( 12.4%)	177 ( 11.6%)	185 ( 10.8%)	155 ( 9.7%)	324 ( 15.3%)	183 ( 8.9%)	188 ( 6.2%)	153 < 60> ( 2.6%) ( 5.4%)		167 < 53> ( 3.6%) ( 4.0%)		169 < 75> ( 4.3%) ( 6.5%)
06.身のまわり品	50 ( 5.2%)	99 ( 6.9%)	94 ( 6.1%)	78 ( 4.6%)	73 ( 4.6%)	98 ( 4.6%)	86 ( 4.2%)	217 ( 7.2%)	1,252 < 67> ( 21.0%) ( 6.1%)		420 < 40> ( 9.2%) ( 3.0%)		229 < 29> ( 5.9%) ( 2.5%)
07.保健衛生用品	20 ( 2.1%)	57 ( 4.0%)	34 ( 2.2%)	11 ( 0.6%)	19 ( 1.2%)	51 ( 2.4%)	17 ( 0.8%)	25 ( 0.8%)	119 < 9> ( 2.0%) ( 0.8%)		29 < 5> ( 0.6%) ( 0.4%)		120 < 2> ( 3.1%) ( 0.2%)
08.レジャー用品	28 ( 2.9%)	35 ( 2.4%)	27 ( 1.8%)	23 ( 1.3%)	31 ( 1.9%)	42 ( 2.0%)	59 ( 2.9%)	29 ( 1.0%)	108 < 12> ( 1.8%) ( 1.1%)		108 < 17> ( 2.4%) ( 1.3%)		82 < 17> ( 2.1%) ( 1.5%)
09.乳幼児用品	7 ( 0.7%)	23 ( 1.6%)	8 ( 0.5%)	8 ( 0.5%)	49 ( 3.1%)	19 ( 0.9%)	6 ( 0.3%)	21 ( 0.7%)	130 < 4> ( 2.2%) ( 0.4%)		128 < 12> ( 2.8%) ( 0.9%)		82 < 6> ( 2.1%) ( 0.5%)
10.繊維製品	10 ( 1.0%)	17 ( 1.2%)	5 ( 0.3%)	7 ( 0.4%)	9 ( 0.6%)	4 ( 0.0%)	7 ( 0.3%)	20 ( 0.7%)	13 < 1> ( 0.2%) ( 0.1%)		28 < 5> ( 0.6%) ( 0.4%)		35 < 2> ( 0.9%) ( 0.2%)
11.その他	3 ( 0.3%)	25 ( 1.7%)	0 ( 0.0%)	1 ( 0.1%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 < 0> ( 0.0%) ( 0.0%)		0 < 0> ( 0.0%) ( 0.0%)		0 < 0> ( 0.0%) ( 0.0%)
合計	956 (100.0%)	1,443 (100.0%)	1,532 (100.0%)	1,714 (100.0%)	1,593 (100.0%)	2,116 (100.0%)	2,045 (100.0%)	3,012 (100.0%)	5,949 <1,102> (100.0%) (100.0%)		4,590 <1,329> (100.0%) (100.0%)		3,912 <1,150> (100.0%) ( 0.0%)

(注) ( )内の数字は、各年度の通知件数に占める商品区分毎の割合を百分率で表したものである。

図1 事故件数の年度別推移

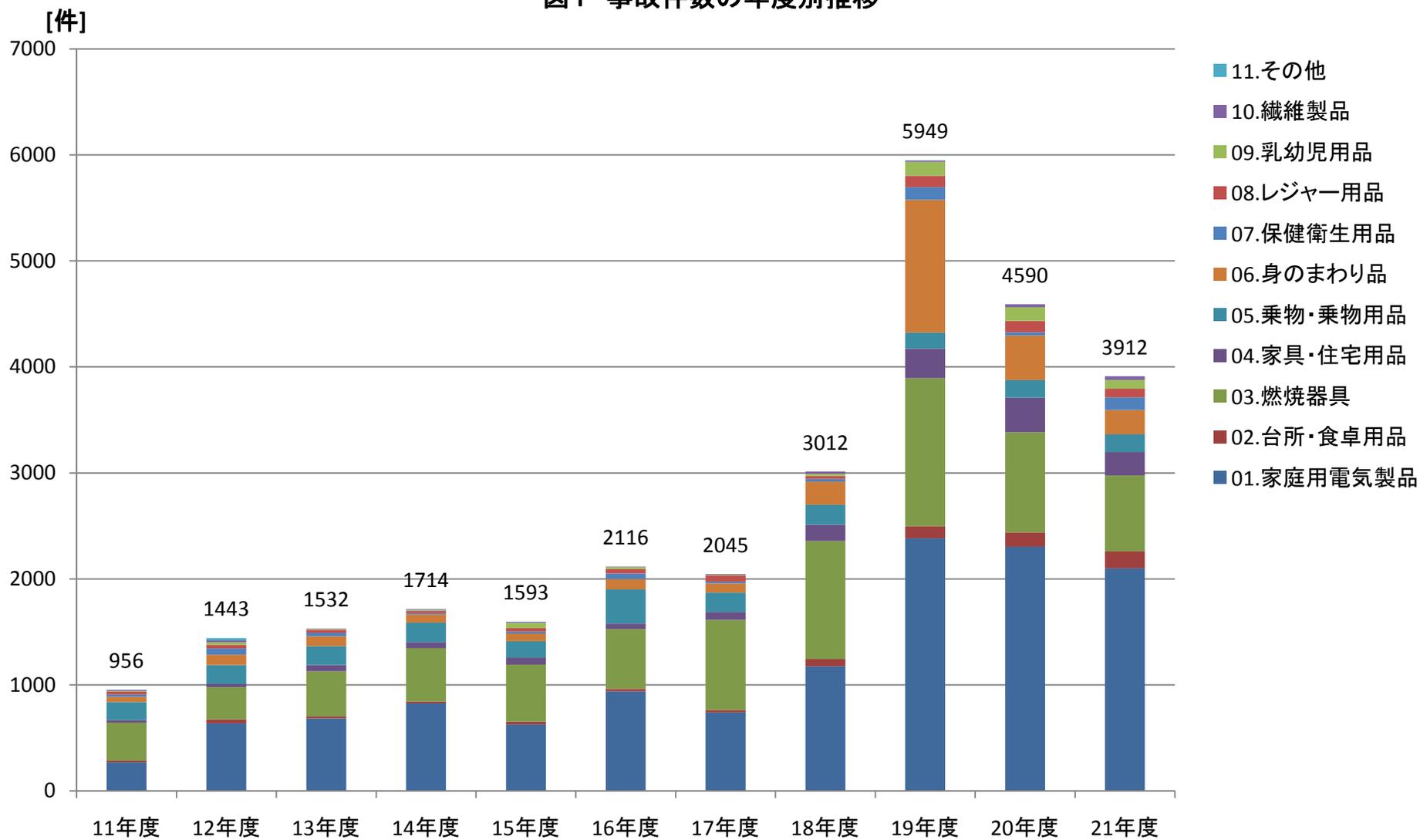


表2 製品区分別被害状況

平成21年度  
[件]

製品区分	被害状況			人的被害の発生した事故						人的被害の発生しなかった事故											
	合計			死亡		重傷		軽傷		拡大被害		製品破損		被害なし							
01.家庭用電気製品	2100	2303	2382	14	25	55	31	56	47	239	212	211	577	736	886	1212	1212	1125	27	62	58
02.台所・食卓用品	160	137	117	0	0	0	6	13	12	73	49	50	7	10	16	71	59	32	3	6	7
03.燃焼器具	716	944	1394	27	41	85	19	17	35	104	157	264	268	367	642	284	319	310	14	43	58
04.家具・住宅用品	219	326	279	8	24	16	50	74	63	91	143	77	18	22	12	51	46	106	1	17	5
05.乗物・乗物用品	169	167	153	10	7	13	57	44	52	63	60	49	4	4	4	34	50	28	1	2	7
06.身のまわり品	229	420	1252	0	1	3	27	40	57	101	172	1040	39	51	61	61	144	75	1	12	16
07.保健衛生用品	120	29	119	0	0	2	3	5	5	30	18	82	5	4	14	82	1	9	0	1	7
08.レジャー用品	82	108	108	0	1	11	17	18	15	39	33	29	2	3	4	24	48	46	0	5	3
09.乳幼児用品	82	128	130	0	1	1	6	11	4	65	80	43	0	1	25	9	28	21	2	7	36
10.繊維製品	35	28	13	0	1	1	3	3	2	14	18	7	0	0	0	0	1	0	18	5	3
11.その他	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	3912	4590	5949	59	101	188	219	281	292	819	942	1853	920	1198	1664	1828	1908	1752	67	160	200

(注)1. 被害状況については、製品の問題の有無を問わずにみた件数である。

2. 重傷とは、全治1か月以上のけがをいう。

3. 拡大被害は、製品以外に他の物的被害に及んだものをいう。

4. 各欄内の数値は(平成21年度、平成20年度、平成19年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の被害状況を集計したものである。

表3 製品区分別事故原因

平成21年度  
[件]

事故原因 製品区分	A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	B:製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの	D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	E:専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	F:その他製品に起因しないと考えられるもの	G1、G2:原因不明のもの(平成19年度はG3相当含む)	重大製品事故	[小計]調査が終了したもの	H:調査中のもの	合計
01.家庭用電気製品	188 838 918	10 56 65	29 59 92	122 104 0	16 67 54	78 259 326	19 70 58	89 233 398	89 247 393	640 1,933 2,304	1,460 370 78	2,100 2,303 2,382
02.台所・食卓用品	9 22 39	3 8 14	4 0 3	1 24 0	0 0 0	16 22 21	0 3 2	41 39 23	2 7 8	76 125 110	84 12 7	160 137 117
03.燃焼器具	17 115 107	0 4 4	5 12 32	3 14 0	11 48 51	121 395 775	21 51 36	29 107 204	32 48 120	239 794 1,329	477 150 65	716 944 1,394
04.家具・住宅用品	23 36 116	2 11 9	0 3 6	0 21 0	3 8 10	18 68 63	25 36 8	6 89 27	2 12 31	79 284 270	140 42 9	219 326 279
05.乗物・乗物用品	11 48 46	0 1 4	2 1 1	2 1 0	4 6 3	14 37 23	2 15 13	10 27 24	5 9 36	50 145 150	119 22 3	169 167 153
06.身のまわり品	45 124 1,031	0 124 65	0 2 2	2 12 0	0 0 0	12 43 29	2 16 11	12 65 59	0 10 22	73 396 1,219	156 24 33	229 420 1,252
07.保健衛生用品	5 4 13	1 1 26	0 1 0	0 0 0	0 0 0	4 12 18	1 3 5	1 2 50	0 1 7	12 24 119	108 5 0	120 29 119
08.レジャー用品	15 47 48	4 0 4	4 3 1	0 2 0	0 0 0	6 10 9	2 10 15	7 14 19	3 5 7	41 91 103	41 17 5	82 108 108
09.乳幼児用品	3 72 12	1 11 7	0 1 0	0 0 0	0 0 0	2 8 8	1 6 1	4 13 99	2 3 3	13 114 130	69 14 0	82 128 130
10.繊維製品	2 10 4	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 3	0 10 2	0 3 3	0 0 0	2 23 12	33 5 1	35 28 13
11.その他	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 1	0 0 1	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 2	0 0 0	0 0 2
合計	318 1,316 2,334	21 216 198	44 82 137	130 178 0	34 129 119	271 854 1,276	73 220 151	199 592 906	135 342 627	1,225 3,929 5,748	2,687 661 201	3,912 4,590 5,949

(注)1. 各欄内の数値は(平成21年度、平成20年度、平成19年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の事故原因を集計したものである。

2. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表4 事故原因別被害状況

平成21年度  
[件]

事故原因	被害状況 合計	人的被害の発生した事故			人的被害の発生しなかった事故		
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし
A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	318 1,316 2,334	0 0 0	5 5 17	87 259 1,115	31 114 209	191 907 962	4 31 31
B:製品自体に問題があり、使用方も事故発生に影響したと考えられるもの	21 216 198	0 1 0	1 0 2	11 46 80	1 25 29	8 133 71	0 11 16
C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	44 82 137	0 0 0	0 0 1	6 7 10	10 21 43	28 48 80	0 6 3
G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの	130 178 0	0 0 0	0 1 0	5 21 0	10 38 0	115 114 0	0 4 0
D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	34 129 119	1 2 3	0 4 5	10 25 17	10 60 52	13 34 38	0 4 4
E:専ら誤使用や不注意な使用方法と考えられるもの	271 854 1,276	5 42 87	11 93 82	93 206 304	86 312 625	73 177 145	3 24 33
F:その他製品に起因しないと考えられるもの	73 220 151	3 11 19	4 56 24	11 66 32	13 56 53	38 25 14	4 6 9
G1、G2:原因不明のもの (平成19年度はG3相当含む)	199 592 906	2 16 40	16 16 24	73 203 221	37 136 292	82 174 234	5 47 95
重大事故	135 342 627	1 1 31	14 45 94	9 12 47	57 189 306	54 95 149	0 0 0
[小計]調査が終了したもの	1,225 3,929 5,748	12 73 180	35 220 249	305 845 1,826	255 951 1,609	602 1,707 1,693	16 133 191
H:調査中のもの	2,687 661 201	47 28 8	184 61 43	514 97 27	665 247 55	1,226 201 59	51 27 9
合計	3,912 4,590 5,949	59 101 188	219 281 292	819 942 1,853	920 1,198 1,664	1,828 1,908 1,752	67 160 200

(注)1. 各欄内の数値は(平成21年度、平成20年度、平成19年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき事故原因別の被害状況を集計したものである。

3. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表5 製品区分別再発防止措置等の実施状況

(製品に起因する事故) 平成21年度  
[件]

製品区分	発防止措置の実施状況			製品の交換、部品の交換、安全点検等を行ったもの	製品の製造、販売又は輸入を中止したもの	製品の改良、製造工程の改善、品質管理の強化等を行ったもの	表示の改善、取扱説明書の見直し等を行ったもの	政府、団体、事業者等の広報等により消費者に注意を喚起したもの	被害者への措置、損害賠償、製品交換等、個別的な措置												
	措置実施件数																				
01.家庭用電気製品	273	942	1,028	155	616	769	13	25	64	87	436	534	44	48	52	205	645	853	197	681	823
02.台所・食卓用品	15	55	59	2	11	21	3	6	28	12	40	35	3	6	14	5	43	20	7	47	45
03.燃焼器具	51	162	172	47	154	147	1	2	13	15	105	72	0	2	3	47	84	146	37	72	134
04.家具・住宅用品	22	66	143	10	46	112	3	16	24	15	35	116	3	4	10	5	24	96	12	55	110
05.乗物・乗物用品	14	49	72	6	43	48	1	10	9	8	34	27	0	5	2	6	32	45	12	34	37
06.身のまわり品	30	253	1,104	24	104	1,021	7	8	12	4	54	98	0	27	64	26	225	1,077	26	107	1,037
07.保健衛生用品	6	6	46	2	1	41	0	1	39	5	3	4	1	2	2	1	2	42	3	3	37
08.レジャー用品	23	53	51	14	43	37	1	8	9	14	30	43	4	1	6	14	31	39	16	35	43
09.乳幼児用品	6	84	19	3	59	7	0	13	5	4	80	14	1	18	6	3	70	10	5	62	13
10.繊維製品	1	10	4	1	8	2	0	5	2	1	9	2	0	0	1	1	6	3	1	6	4
合計	441	1,680	2,698	264	1,085	2,205	29	94	205	165	826	945	56	113	160	313	1,162	2,331	316	1,102	2,283

(注)1. 収集された事故に関して複数の措置が取られたものは、措置ごとに集計した。

2. 各欄内の数値は(平成21年度、平成20年度、平成19年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の再発防止措置等の実施状況を集計したものである。

3. 個別措置のみのものを除く。